

## 令和5年度 協働型学校評価の重点目標の設定に向けて

「自分から先に挨拶し、相手や場に応じた言葉遣いができる児童を70パーセント以上にする。」

### ～具体目標を設定して取り組む～

#### <本校児童の課題>

進んでコミュニケーションが取れない。また、小規模校のためか、挑戦したり競争したりする姿があまり見られない。

#### <学校教育目標におけるめざす児童像>

「進んで学ぶ子」 ・学習ルールや学び方を身に付け、自分の考えを積極的に発表する子供  
「助け合う子」 ・自他を思いやり、善悪の判断を正しくできる子供  
「頑張りぬく子」 ・困難に負けず、チャレンジしようとする行動力と強い心を持つ子供

#### ☆目指す子どもの姿

|     |   |
|-----|---|
| 低学年 | <ul style="list-style-type: none"><li>・挨拶を進んですることの良さを知り、楽しく学校生活を送る。</li><li>・めあてを持って活動や行事に取り組み、自分の頑張りを振り返る。</li></ul>   |
| 中学年 | <ul style="list-style-type: none"><li>・挨拶を進んですることの良さに気付き、楽しく学校生活を送る。</li><li>・目標を持って活動や行事に取り組み、自分の頑張りを振り返ったり友達の頑張りを認めたりする。</li></ul>                                    |
| 高学年 | <ul style="list-style-type: none"><li>・挨拶を進んでしたり、言葉遣いに気を付けたりすることによって互いに認めて、学校生活をよりよいものにしようとする。</li><li>・目標に向かって挑戦し、自分の頑張りを振り返ったり友達の頑張りを認めたりし、新たな目標に向かうことができる。</li></ul> |

#### ☆具体的な取組

##### 学校の取組

<学年（学級）・個人で取り組む手立て>

<学校全体で取り組む手立て>

- ・進んで挨拶すること、言葉遣いに気を付けることを確認させる。
- ・挨拶や言葉遣い生かした目標を考え取り組ませたり、定期的に振り返ったりさせる。
- ・行事に取り組む際、自分のめあてを考えたり、振り返ったりするようにさせる。



##### 家庭の取組

- ・挨拶や言葉遣いを意識することができたら、認めて褒める。
- ・できないことを責めず、次にどうしたら良いかを話し合い、励ます。
- ・学校・家庭以外の環境に子供を積極的に連れて行き、そこでの活動を見守り、励ます。



##### 地域の取組

- ・子供会や地域行事に子供を参加させ、その活動を認め励ます。
- ・学校の教育活動に積極的に参加し、児童と関わりながら、児童の活躍を見守り励ます。

